鳥栖市立田代中学校だより　No. 12

たじろ

《重点目標》公の場で通用する人になる

- 自分からする，自ら行動を起こす
- みんなとする，協力する，学び合う
- ほめ合う，価値を伝え合う，成長し合う

発行日：令和４(2022)年３月24日／発行者（文責）：校長 西村 茂樹

本日，無事「修了式」1年間，ありがとうございました。

今年度もまた，多くの制約と我慢を強いられた学校教育。生徒たちの明るさに救われながら，本日3/24，無事に「修了式」を迎えることができました。学校からの様々なお願いにも，終始，ご理解とご協力をいただきました保護者の皆様，ご支援くださった地域の方々に，厚く御礼申し上げます。

昨日23日は「大掃除」を行い，心を込めて「修了の日」の準備をしてくれました。級友と１年を一緒に過ごした教室は，すべての掲示物がはがされて，新たな学級に引き継がれていきます。少し寂しさを感じる教室風景になりましたが，それ以上に，次の学年に向かう初々しい“成長の喜び”のようなものが満ちていました。

第75回「卒業証書授与式」

平成最後の年に入学し，令和時代の幕開けとともにスタートした３年生の中学生活。しかし，全国一斉休校に始まったコロナ対応は，行事や生徒会活動などの自粛・縮小と続いていき，思い通りに活躍の場を描いてやれず痛恨の極みでありました。

しかし，困難に負けず逞しく成長した卒業生は，希望の風が吹く 3/11㈮，輝く笑顔を残して誇り高く中学校を巣立っていきました。それぞれの道を歩み出す 239名を，いつも温かく応援し見守ってくださったすべての皆様に，深く感謝申し上げます。

若人よ，これからの新時代を，誰にも恥じることなく誇り高く生き貫いていけ！

人生に，意味のないことは起こらない。
起きたことに一喜一憂するのではなく，起きた意味を考えることのできる人になってほしい。
すべては，よりよいことのために起こる。
すべては，幸せになるために起こる。

歩き出す人に〝希望の風〟が吹く

義務教育修了

社会に出ても困らない学力・体力・道徳など，９年間で立派に身に付けた君たちへ。その証を授与します。おめでとう！

これからの自分

励ましてくれた先生。叱ってくれた先生。傍にいてくれた先生。これからも見ていてください。もっともっと成長しますから。

みんなにありがとう

家族の応援で頑張れた。みんなのお陰で成長できた。このクラスの一員でいれてよかった。「ありがとう」で胸がいっぱい。

思いを込めて

お父さん・お母さんに，先生に，友達に，後輩たちに，家族に，お世話になった方々すべてに，私たちの心を届けます。

群青

ああ　あの町で生まれて
君と出会い　♪
たくさんの思い抱いて
一緒にときを過ごしたね
（中略）
きっとまた会おう　♪
あの町で会おう
僕らの約束は
消えはしない　群青の絆
また会おう　群青の絆・・・

離任式 3/24「ありがとうございました&さようなら」

毎年のことながら，「結実（修了）」の春は，悲しい「別れ」の季節でもあります。令和４年度に向けた学校の「人事異動」が本日発表され，4/1 付けで田代中を離任される多くの先生方との「お別れの式」を行いました。ご尽力いただいた先生方の新天地でのご活躍を，心からお祈り申し上げます。

末次	教頭先生	諸富中へ
江頭	先生	ご退職（再任用：神埼中へ）
能塚	先生	ご退職（再任用：本校）
吉松	先生	ご退職（再任用：本校）
杉山	先生	鳥栖中へ
山川	先生	鳥栖中へ
松永	先生	山内中へ
野副	先生	基里中へ
坂本	先生	鳥栖西中へ
森	先生	基里中へ
杉野	先生	基山中へ
平野	先生	中原中へ
原口	先生	昭栄中へ

硯川	先生	ご退職	
佐竹	先生	ご退職	
和田	先生	基里中へ	
佐々木	先生	鳥栖西中へ	※用務員
太田	先生	ご退職	※特支教育支援員
牧尾	先生	ご退職	※ＳＳＳ
【非常勤】			
大隈	先生	ご退職	※初任研指導
田中	先生	ご退職	※初任研指導
アリック	先生	ご退職	※ＡＬＴ
森	先生	ご退職	※ＩＣＴ
【産休へ】			
※石松（旧姓：熊谷）	先生	4/1～	

※ご退職の先生方の転出先等は，一部（主に中学校関係への転出の場合）のみ記載しています。

もう随分古い映画になってしまいましたが，夜間中学校に焦点を当てた「学校」（93年）という作品があります。制作したのは “寅さんシリーズ” などで有名な 山田洋次監督です。

この映画のパンフレットには，右のような監督の思いが書かれています。見る度に心に染みるメッセージです。

「母校」という言葉が死語になりつつあります。しかし，学校は，「母」という字がふさわしいほど懐かしくてたまらないところであったはずです。「学ぶ」ということがどんなに喜びであるか，「教える」という仕事がどれほど手応えの確かな生涯を賭けるにふさわしい素敵な職業であるかということを，そして，学校が楽しいところであってどうしてならないのだということを，この映画で描きたいのです。

令和３年度
学校教育目標

夢に向かって目標をもち，
チャレンジする生徒の育成